

2部 教会生活について

2章 教会と聖霊

●教会の誕生

聖霊降臨 一同聖霊に満たされた。 使徒の働き 2:1~4

●聖霊の満たし

聖霊の満たし、聖霊のバプテスマ 使徒 1:3~8 2:38

バプテスマ=バプティズム（合一、沈潜）。 満たし=プレローマ（完全なる充満）

完全なる明け渡し：12使徒の例（特にペテロ）使徒の働き 1:12~14 二階座敷（アパルーム）

神の働きへの同意：使徒の働き 4:29~31

継続する聖霊の満たし

●聖霊の賜物（ギフト）について I コリント 12:1~14:40

賜物=カリス(恵み ギリシャ語) カリスマ（神からの特別な賜物をいただく人）

聖霊によって与えられるカリス。長所、特技、才能、素質とは限らない。

聖霊の賜物——聖霊によって与えられる特別な能力、職務

もともと持っていた能力が、賜物として活かされるケースが多い。

聖霊の賜物と一般的能力との違い——出所が違う、キリストが分け与えたもの。エペソ 4:7, 10

使用目的が違う。目的=キリストの体を建て上げる エペソ 4:12

●聖霊の賜物の種類

賜物は、キリストの体の器官としての働き。

ローマ 12:3~8 預言、奉仕、教える、勧め、分け与える、指導、慈善

I コリント 12:1~14:40 知恵、知識、信仰、癒し、奇跡、預言、霊の見分け、異言、異言の解き明かし

エペソ 4:10~13 使徒、預言者、伝道者、牧師、教師

最も偉大な賜物 愛の賜物 I コリント 13:13

その他：賛美、もてなし、祈り、戦い、など等。

●聖霊の賜物の発見と活用

自分の内にあるパッション。結ばれている実。周囲の客観的な意見。賜物を適切に用いる。賜物に人格はない。

●コリントの教会に見る聖霊の賜物の混乱 I コリント 12章~14章を参考に

「他の人と同じ賜物を持たないといけない。あるいは、自分と同じ賜物を他の人も持つべきだ。」 12:14~20

「見た目の格好の良さで賜物の優劣を計っていた。必要のない賜物があると考えていた。」 12:21~24

「愛の欠如があった。」 13:1~13

「特定の賜物（異言）の乱用があった。」 14:39~40 適切に秩序を持って。